



動労連帯高崎

国鉄高崎動力車連帯労働組合

〒360-8799 埼玉県熊谷郵便局私書箱56号
srkcjp@yahoo.co.jp 048-722-7107 (FAX共)

2015年9月7日 No. 132

9月12日 外注化反対！人を増やせ！賃金あげろ！安保持法反対！

動労連帯ストライキへ！

動労連帯高崎に加入して一緒にストやろう！

■漆原副委員長を先頭に

3名の組合員がストに突入します！

動労連帯高崎は、9月12日(土)始業時から終業時まで、ストライキを決定することを決定し、JRとTTS、さらに埼玉県労働委員会と埼玉県知事あてにストライキ通告を行った。

3名の組合員が次のような日時でストに入る予定である。

★漆原芳郎副委員長 (TTS 籠原事業所・構内業務と一部車両清掃業務 JRからの出向) 9月12日 8時55分～17時25分

★鈴木喜平 (TTS 籠原事業所・車両清掃、TTS 契約社員) 9月12日 17時50分～13日 2時30分

★木村洋一 (TTS 熊谷事業所・駅舎清掃、TTS 契約社員) 9月12日 16時～13日 0時30分

■出向から丸3年前に、「JRに復帰させよ!」、JRの安全を守れ!

動労連帯高崎は次の5点を求めて渾身のストライキに決起する。

第一には、2012年10月に構内検査部門が、JRからTTSに外注化され、JR労働者がTTSに強制的に出向に出されたが、その時の約束は「3年でJRに戻す」と言うものであった。当然にも9月末をもって全員の出向を解除しJRに戻すべきである。

動労連帯高崎は、JRの業務を外注化することは、技術継承を破壊し運転の安全を崩壊することを強く指摘し

て、一貫して外注化に反対してきた。

JRの事故が相次ぎ、目を覆うばかりの安全崩壊が進んでいることは誰もが感じていることだ。その全ては、本来はJRが責任を持って行うべき業務を外注化し、低コストで請け負わせようとするところから生まれている。駅業務の外注化もさらに進められているが、そのために、いったんトラブルがおきると回復が容易にできない状態が続き、何時間も乗客が足止めされる事態が続いている。

3年間の外注化の経験の結論は外注化は百害あって一利なしということである。ところが、JRは出向を解除するどころか、転籍を狙う動きを強めている。言語道断であり、到底認めるとはできない。

「3年で復帰させる」要求は転籍に

反対するということでもある。転籍となれば、労働条件は大幅に変更可能となり、労働者全体の待遇が極端に下げられることになる。これは鉄道で働くすべての労働者の未来を奪う大攻撃である。ストライキはこれに反対し、運転の安全を守るための闘いだ。

■清掃労働者の労働条件の大幅改善が絶対に必要だ!

第二に、TTSの車両や駅舎清掃を担っている労働者の労働条件を大幅に改善することを求めるストライキだ。

そもそも、TTSの労働条件は極端に悪い。低賃金で強労働である。家族を一生養うにはとても足りない低賃金である。そもそもJRがTTSに業務を外注化するのは、低賃金で働かせ、コストをさげて、JRの儲けを大きく

9・12ストライキ・スケジュール

■JR弾劾行動

9月12日 8:00～8:30
籠原運輸区前 (JR籠原駅北口)

■動労連帯スト突入集会 (第一弾)

9月12日 8:50～10:00
JR車両センター—籠原事業所前

■熊谷駅街宣

9月12日 15:00～16:00
JR熊谷駅北口

■動労連帯スト突入集会 (第二弾)

9月12日 16:00～17:00
JR熊谷駅北口

■動労連帯スト突入集会 (第三弾)

9月12日 17:50～18:30
TTS籠原事業所前

闘う労働組合に結集して外注化粉碎！ 全員の正規職化を勝ちとろう！

増やすためだ。つまり、TTSの労働条件が低い、低賃金であることを前提としているのが外注化だ。外注化は、労働者の非正規化⇨低賃金、悪労働条件と一体で強行されているのだ。

3月のダイヤ改正で上野東京ラインが開業し、車両清掃業務は業務量が大幅に増加した。籠原で働く鈴木喜平さんは、「このままでは倒れる仲間が出る」「人員増を求めるのは職場の大多数の声だ」と感じ、自ら、車両清掃業務の人員増を求める署名運動を始めている。この目的を達成することがストライキの第二の目的だ。業務量の増加にともなった人員増を求めているのは、駅舎清掃の労働者も、構内作業の労働者も、メディアサービスの労働者も同じだ。

人を増やせ！ 賃金を大幅アップして人員の定着をはかれ！ これがストライキの第二の目標だ。

■闘わないTTS労組や他労組では未来は切り開けない

第三に、TTS労働組合も東労組も国労も、外注化に反対せず、外注化社労働者のためにまったく闘わないからだ。

熊谷の木村洋一さんは、TTS

労働組合に加盟しており、8月28日のTTS労働組合定期大会に参加して、清掃作業にともなうゴミ分別作業の過重さを訴えたが、執行部から具体的に取組むと言わない回答はなかった。参加者の少なさを、議論の低調さ、やる気のなさに「びつくりして、この組合には何も期待できない」と考えて、動労連帯高崎に正式加入した。

そもそもTTS労働組合は、パート労働者を組合員として扱わない。東労組、国労も、外注化社の労働者と同じ労働組合に加入させることはしない。JR本体の労働者は本体の組合に、外注化社の労働者は外注化社の労働組合に入れるというやり方をしてしている。つまり、正規と非正規を分断している。正規と非正規が団結して、親会社JR、外注化社TTS双方と闘うという方針ではない。これでは、非正規の低賃金・悪い労働条件によつて、正規もどんどん非正規化されていく流れに反撃することはできない。

動労連帯は、正規も非正規も、パートも契約社員も正社員も、JRもTTSも、すべて同じ組合に加入する労働組合だ。今回3人



8月30日の安保法制反対大闘争に決起する動労連帯高崎

が団結してストライキを闘うのは、そういう画期的な意味を持つている。

■安倍の戦争法案廃案をもとめてストに起つ！

第四に、今回のストは、安倍政権の戦争法案に反対して打ちぬかれる。労働者の協力がなければ戦争はできない。安保関連法案をめぐる最大の決戦である9月第三週を前にしてJRの職場から安保法制反対を掲げてストライキに決起することは決定的な闘いだ。

8月30日の12万人の国会闘争にも動労連帯高崎は決起した。高まる戦争法案反対の声を無視して安倍政権は戦争法案の強行採決

を狙っている。今、労働組合に求められていることは職場からストライキで戦争法案に反対することだ。

■動労連帯高崎に結集してともにストライキを闘おう！

第五に、動労連帯高崎に加入して、ともにストライキを闘うことで、労働者のギリギリの要求を実現しよう！と訴えたい。

あらためてはつきりさせよう。労働者のために闘わない労働組合にいても意味はない。組合費が無駄になるだけだ。脱退して闘う労働組合に加入する権利は最高裁判決によつて認められている。

また、会社は動労連帯高崎の3名がストに入ること、その穴埋めを他の労働者に強制しようとしてくるに違いないが、「それはスト破りになるからできません」と拒否しよう。そもそも穴埋め⇨大幅な労働強化を労働者が負担しなければならぬ責任はない。責任は会社とるべき施策を会社や上司がとっていないこと

が問題なのだ。「スト破りはしない」は労働者の最低限のルールだ。そして、要求を実現する一番の力は、動労連帯高崎に結集して、ともにストライキを闘うことだ。

われわれ労働者が自分自身が生きたために公然と会社に怒りをたたきつけることができるのがストライキであり、ストライキは闘う労働組合に入ればまったく合法的に権利として行使することができる。こんな爽快なことはない。しかもストライキに入る労働者があと数日間のうちに増えるならば、ストライキの効果は劇的となる。

出向させられているJR社員のみなさん。TTSの清掃労働者のみなさん。構内運転を始めたばかりのプロパー社員のみなさん、動労連帯高崎に結集して、ともに闘おう。自分と家族の健康と生涯の生活をまもるために「本来の労働組合」をとり戻そう！

外注化粉碎！ 強制出向無効確認訴訟

9月11日(金) 11時〜東京地裁第527号法廷

解雇撤回・外注化反対・非正規職撤廃！ 戦争法案廃案！ 安倍打倒！

9・18怒りの熊谷集会

9月18日(金) 午後6時30分から
ところ 熊谷市荒川公民館(宮前町1-24-1) 熊谷駅から徒歩5分



報告 国鉄千葉動力車労働組合
連絡先 動労千葉を支援する会
・熊谷 (090-5572-9108)